

3 クラウドって? どう使うの?

現代の情報社会において欠かせないシステムのひとつが「クラウド」です。

インターネットを利用して、いつでも、どこからでもデータにアクセスできる便利な仕組みについて、使い方や気をつけるべきことを確認しましょう。



どこからでも、何を使って

クラウドという言葉には「雲」という意味があります。雲の中にあるように、どこにあるかははっきり見えないところに置かれているシステムやデータを利用することを、クラウド利用と呼んでいます。

どこかわからないといっても、その場所はどこかにはあります。ただ、重要なデータが管理されていたり、私たちの生活への影響が大きかったりすることから、その場所がどこかは通常は公開されていません。

クラウドに置かれたシステムやデータは、どこからでも、いつでも、どんな端末でも利用できます。

どこからでも

皆さんが学校で使っているシステムやデータの保存先がクラウド利用のシステムである場合は、学校でも自宅でも、あるいは校外学習の先でも、利用することができます。

いつでも

学校の授業時間はもちろん、放課後、帰宅してからや休みのときにも利用することができます。

どんな端末でも

システムが対応しているものであれば、パソコン、タブレット、スマートフォンなどを自由に利用できます。

世界中のさまざまな人たちが、同じクラウドを利用しているかもしれません。だからユーザー名（ユーザーID）とパスワードで利用者を識別することが大切なのです。

インターネットでつながる

皆さんとクラウドをつないでいるのはネットワークという仕組みです。インターネットができれば、クラウド利用ができます。新たに準備することなくそのまま利用することができるため、使い始めることは難しくはありません。しかし、インターネットで誰もが利用できてしまうと、他人に自分のものを利用されてしまう可能性があります。それを防ぐために、安全のための仕組みも同時に用意されています。

それが、ユーザーアカウント（ユーザ名とパスワード）です。クラウドを利用できるのは、ユーザーアカウントが登録されている人だけです。

また、インターネットの途中で情報を盗み見られることがないように、暗号化した通信を利用することも必要です。



ユーザーアカウント

ユーザーアカウントとは、システムを利用する人が正しいかどうかを確認するためのもので、一般的には、ユーザー名（ユーザーID）とパスワードの組み合わせでできています。

この組み合わせがわかると、本人以外の人でもシステムを利用することができてしまうため、ユーザー名（ユーザーID）とパスワードをきちんと管理することはとても大切です。誰かひとりのアカウントが不正に利用されることで、全体に影響を与えることにもなりかねません。

安全性を高めるために、PINコード（端末に関連づけられたもの）や物としての鍵にあたるもの（USBキーなど）、ワンタイムパスワードなど、さまざまな種類のパスワードがあります。重要度の高い情報は、こうした複数の要素を組み合わせることで認証（本人を確認する）をする場合も多くなってきています。



※パスワードの大切さ、どのように管理すればいいかは「ネット社会の歩き方」の動画教材でも詳しく解説しています。

<http://www2.japet.or.jp/net-walk/anime/movie.html?id=97>